

(1) 他市町学校規模適正化検討委員会の実施状況等について

項目	市員町	塩谷町	那須烏山市
学校数	小3、中1	小3、中1	小5、中2
児童生徒数	小479、中268	小311、中182	小509、中474
開始年度、実施回数及び答申公表の時期	令和6年度 4回 令和7年2月	令和4、5年度 11回 令和6年2月	令和5～7年度 9回 令和7年5月
○検討委員会の目的	○学校施設の老朽化や児童生徒数の減少に伴う教育環境の整備及び児童生徒が将来にわたり安心して学べる学校教育の充実のため、小中学校の将来を展望した方について検討を行う。	○児童生徒数の減少という状況を町の学校教育を見直す大きな転換点として捉え、「町の未来を創造する教育を実現するための新たな学校作り」を念頭に検討を行う。	○学校の小規模化に伴う規模等について学校の現状及び課題を整理するとともに、地域コミュニティや今後のまちづくりを視野に入れて検討を行う。
★学校適正化の基本的な考え	★将来の課題も想定し、児童生徒の安心安全を確保するとともに教職員もやりがいをもって働く環境を整備する。	★児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、磨き合うことを通じて一人一人の資質・能力を伸ばしていく学校を創る。	★学校規模の適正化（学級数）、学校の適正配置（通学条件）、学校統合の適否に関する合意形成、魅力ある学校づくりについて検討を行う。
□答申の概要	□学校規模については、1学年当たり2学級が理想である。1学年当たり1学級程度となる場合、統廃合はやむを得ない。 □統廃合については、既存施設の有効利用についての検討、義務教育学校等や小規模校の検討、学校の位置についての検討、通学環境についての検討が必要である。 □町全体の問題として捉え、町の子育て支援策等と組み合わせさせて考える必要がある。	□学校規模については、小中の一貫した教育活動を行える義務教育学校が望ましい。 □小中学校の配置については、既存の学校施設及び周辺環境の活用を視野に入れ、最適な場所を選定する。 ※町学校設置基本構想に基づき令和11年4月に義務教育学校を開校予定	□学校規模については、1学年当たり2学級が理想である。 □適正配置については、通学時間が概ね1時間以内を目安とすることが望ましい。 □学校統合については、児童生徒数一定の学校規模を確保することを前提に、市の地域性等を踏まえ、学校再編の準備を進めていくことが望ましい。（境小を烏山小に統合することが望ましい。江川小、荒川小、七合小については今後検討する必要がある。）